

# I H30串間市教育研究所 継続研究のきっかけ



これまでの継続研究の中で整理されたkushima版アクティブ・ラーニングの定義

## ○主体的学び

- ・学ぶことへ興味関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組む。
- ・自らの学びをまとめ、活動を振り返り、次時につなげる。

## ○対話的な学び

- ・仲間や教師、地域の人との対話を通して、相手の思いや考えを理解し、新たな考え方を獲得する。
- ・自分や他者との意見の交流と考えの共有する。

## ○深い学び

- ・対話をもとに問題を解決し、自分や仲間の考えを深めたり、広げたりしながら目的に応じた答えを構成する。
- ・学びで習得した知識や技能を関連づけて活用し、様々な問題解決に転用していく。

**Kushima版アクティブ・ラーニング**  
を支えるラーニングスキルの育成が鍵となる！

これまで、研究所の授業公開等を通じて、市内の先生方にALによる授業改善の必要性を啓発してきた。 . . . . .しかし！

必要性も分かる。  
定義も分かる。  
でも、授業に生かす  
のが難しい。  
なぜだろう？



- ・ タイムマネジメントが難しくて授業が終わらない。
- ・ 子どもの個人差があって、分かる子だけが話を進めていくんだよね。
- ・ そもそも、学習の効果が上がるの？
- ・ 教科によって向き、不向きがあるんじゃない？
- ・ 虎の巻でもあれば助かるな。

課題抽出



## 研究主題

「学ぶ意欲をもち、他者との関わりながらよりよく課題を解決できる児童生徒の育成」  
～主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善をとおして～

## AL型授業の課題の整理

①授業のタイムマネジメント

②個人差への対応

③学習効果の適切な評価

④教科の特性にどう対応するか

30年度の研究のキーワードは

対話の必要性のある授業  
手軽な授業研究の積み上げ  
研究データの蓄積と共有

国語・算数・  
英語の3つの  
教科班による  
実践研究



# III 串間市教育研究所 研究の構想



研究キーワードへの具体的アプローチ  
**対話の必要性**のある授業構築  
**手軽な授業研究**の積み上げ  
 研究データの蓄積と共有

VTRを見て  
 次の授業に  
 生かす

## Plan

H30年度串間市教育研究所授業分析シート

本城小学校 第6学年 教科等:国語	授業者 本城小学校 (安影孝司)
単元・題材名:海のいのち	平成 30年 10月 19日 (金)

指導を行う前に ※通常の指導案の形式の立場で

1 本時のねらい (※児童生徒に本時に身に付けさせたいこと)
○ 叙述をもとに、与者いさかじのような生き方の人物だったのが読み取ることができる。
2 ねらいを達成するための手立て (※主体的・対話的で深い学びを目指して)
○ 児童から出た初興の感想をもとに、あててを設定する。
○
○
3 中心発問 (※ねらいを達成するために、本時のポイントとなる発問)
○ 与者いさかじで〇〇な人物でまめます。どの言葉がさわいいますか?
4 ゴールイメージ
(※B層に照準を当てた授業後の児童生徒の姿、本時に際活かされる内容)
○ 叙述をもとに、登場人物の生き方を読み取ることができる。

### 学習のゴールから授業をつくる 授業分析シート前半



## Do

### 指導をふり返って

5 ねらいの達成状況～数値～ (※4段階評価)				
主体的・対話的で深い学び ( 3 ) ( 3 ) ( 3 )				
6 ねらいの達成状況～記述～				
<table border="1"> <tr> <th>効果的に機能した指導等</th> <th>効果的に機能しなかった指導等</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体の話し合いで意見交換をさせたり、発問を精選したりすることで、対話の中で子ども達の考えが深まっている様子が見られた。</li> <li>それぞれの視点で調べさせることで、グループや全体での話し合い活動に必然性がうまれた。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループの話し合いで「共通点」を見つけることで、話し合いの必然性を欠いてしまった。</li> <li>改善策</li> <li>教師が話し合いをさせる意図をもつことが大切。共通点を見つける問いは、授業終盤に拡散された意見を集約する際に効果的な発問の一つとなるのではない。</li> </ul> </td> </tr> </table>	効果的に機能した指導等	効果的に機能しなかった指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の話し合いで意見交換をさせたり、発問を精選したりすることで、対話の中で子ども達の考えが深まっている様子が見られた。</li> <li>それぞれの視点で調べさせることで、グループや全体での話し合い活動に必然性がうまれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの話し合いで「共通点」を見つけることで、話し合いの必然性を欠いてしまった。</li> <li>改善策</li> <li>教師が話し合いをさせる意図をもつことが大切。共通点を見つける問いは、授業終盤に拡散された意見を集約する際に効果的な発問の一つとなるのではない。</li> </ul>
効果的に機能した指導等	効果的に機能しなかった指導等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の話し合いで意見交換をさせたり、発問を精選したりすることで、対話の中で子ども達の考えが深まっている様子が見られた。</li> <li>それぞれの視点で調べさせることで、グループや全体での話し合い活動に必然性がうまれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの話し合いで「共通点」を見つけることで、話し合いの必然性を欠いてしまった。</li> <li>改善策</li> <li>教師が話し合いをさせる意図をもつことが大切。共通点を見つける問いは、授業終盤に拡散された意見を集約する際に効果的な発問の一つとなるのではない。</li> </ul>			
7 授業改善に向けて (※自由記述欄、今後に活かしたいこと、メモ等)				
・低学年時から、組織的に話し合い活動を指導してきたため、児童中心に授業を進めることができた。継続的・組織的に主体的・対話的・深い学びにつながる指導を行うことが必要だと感じた。				

### 主体的・対話的で深い学びの評価 授業分析シート後

## Action



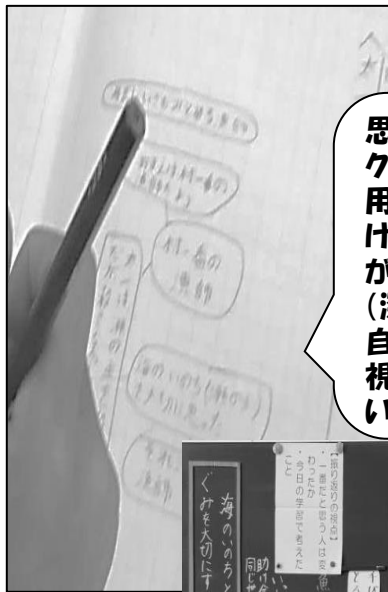
研究授業動画の共有化  
 市内全教職員共有  
 フォルダー

本年度  
 3回の  
 授業公開

## Check

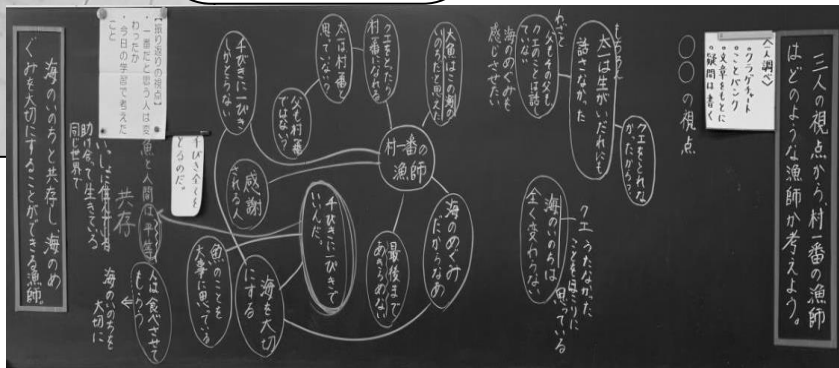
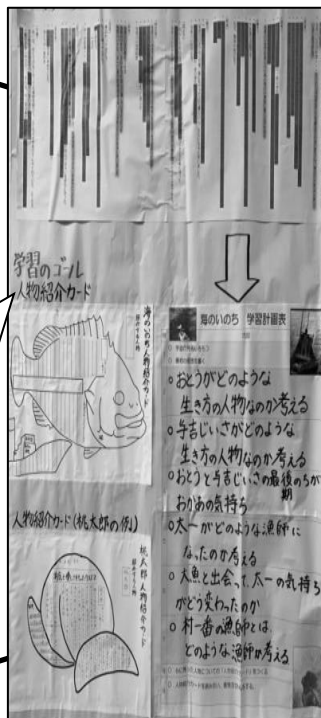
# IV-① 串間市教育研究所 授業研究の実際 国語編

## 個人思考の持たせ方



思考ツールの活用  
クラゲチャートを活用して思考の関連づけができ、考えが広がる！深まる！（深い学び）  
自分や友達の考えを視覚的にとらえやすい！

ゴールとなる言語活動モデルの提示、授業分析シートの作成ゴールイメージ、目的意識をもって学習に取り組む



「共通点を考えましょう」という発問  
拡散された意見を集約する発問の一つとなった

## 対話の充実

「だれが一番か」という発問で自分の考えをもたせ、対話の必然性を生む

「だれが村一番の漁師でしょう。」

別々の視点で考え対話する場面の設定(太一、おとう、与吉いさという異なる視点)で対話の必然性を意図的に仕組む授業をデザインする。

自分の意見の正当性を訴え児童自らが積極的に対話的な学びを行う。



## 発問の工夫

三人の漁師の共通点が何か考えてみましょう

キーセンテンスを元にした発問  
児童の考えを深めさせることができた

「なぜ千匹に一匹なのでしょう。千匹全てではだめなのでしょうか。」

海に関わるいのちと共存することができる漁師

- 課題**
- 対話を集約するタイミングが難しい
  - 発言量の個人差への手立てや、導入の工夫が必要

# IV-② 串間市教育研究所 授業研究の実際 算数編

H30年度串間市教育研究所授業分析シート

大平小学校 第6学年 教科等: 算数	授業者 大平小学校 (日高 美穂)
単元・題材名: 変わり方を調べて(1)	平成30年 10月 日( )

指導を行う前に ※通常の指導案の形式の立場で。

<b>1 本時のねらい</b> (※児童生徒に本時に身に付けさせたいこと)
○ 変化の様子を表にかき、変化のきまりをみつけて問題を解くことができる。
<b>2 ねらいを達成するための手立て</b> (※主体的・対話的で深い学びを目指して)
○ 変化の様子を表にかかせる。
○ 表からきまりを見つけ、式で問題を解くことができないか考える。
○ ペーパーサートをを用いて説明し、問題解決のイメージをもたせる。
<b>3 中心発問</b> (※ねらいを達成するために、本時のポイントなる発問)
○ 表にかいてきまりを見つけましょう。
<b>4 ゴールイメージ</b>
(※B層に照準を当てた授業後の児童生徒の姿、本時に臨に活かされる内容)
○ 自分で変化の様子を表にかき、変わり方のきまりを見つけて問題を解く。
○ 教科書の練習問題、練習プリントを解くことができる。

## 学びのゴールイメージ

授業分析シートで主体的・対話的で深い学びをデザインする

○子どものやる気(主体性)を引き出す

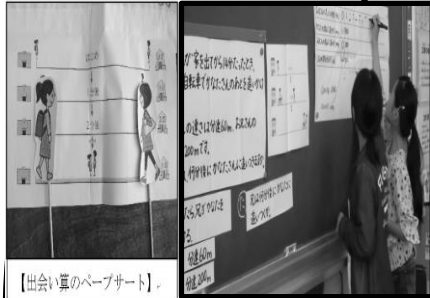
○学習効果を高める対話のさせ方

○中心発問はどうするか

○複式指導の深い学びとは

## ガイド学習と深い学び

### 主体性を引き出す工夫



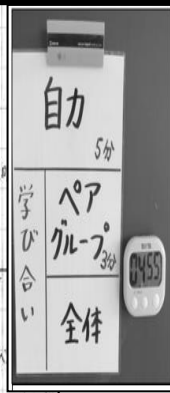
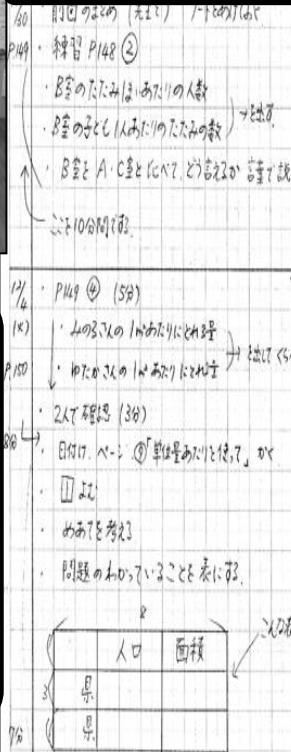
【出合い算のペーパーサート】

題意をしっかり  
掴ませ、対話しながら問題解決を積極的に行うことができた。

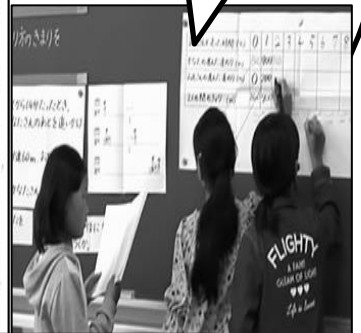


主体的・対話的で深い学びのある学習は複式指導において不可欠! それを支えるガイド学習(スキル)の育成が根底にある。

### ガイドノートの活用で・ガイド学習の手引き



日常的に主体性や対話力を磨き、互いの考えを修正しながら深い学びを展開できるようにする。



**課題** ●対話を通して修正する力を育てていく  
●対話をさせている時の見届けを工夫する

# IV-③串間市教育研究所 授業研究の実際 英語編

## 主体的学びの実現

子どもがやる気をもって英語を学ぼうとするために

- ① 導入段階で、モデルトークによる問いの投げかけをする。

会話の内容を推測しながら学ぶことの習慣化を図る。

- ② ICTを用いた口頭練習をする。

テンポの良い練習で意欲を持たせ学習に取り組めるようにする。



## 必然性のある対話の充実

学習内容を習得するための多様な対話の重点化

- ① 教師と生徒の対話
- ② 生徒と生徒の対話

文法を実際に使用しながら学ぶことで、話す力も高まる



## 英語科における深い学び

習得した知識・技能を用いて自分の考えや周囲の事実を表現できるようになる過程を重視

- ① 習得したことの活用場面の設定
- ② 自己表現の場の設定

4コマ漫画によるタスク活動の工夫



## 課題

- 何を練り合わせるか、課題の設定が難しい
- 個に応じた表現活動の難易度設定が難しい

## V 年度当初の課題に対して 研究で見えたこと

Q タイムマネジメントが難しくて授業が終わらない。

A 授業分析シートで必然性のある学び合いをデザインしたことで、ゴールに向けた最低限の話し合いを展開できた。

Q 個人差があって、学力の高い児童・生徒だけで話し合いを進めていくんだよね。

A 例えば国語の研究でも見られたように、視点を分けた個人思考をさせたことで、個に応じた対話が活性化した。これは他教科にも転用できる工夫である。

Q 教科によって向き、不向きがあるの？

A 今回取り組んだ3つの教科の実践からも分かるように、どの教科においても学習内容によって対話させる場面が必要となるかが明確になった。

Q 虎の巻でもあれば助かるな。

A 研究員はもちろんのこと、研究員以外の先生方にも協力をいただいて複数の教科実践のデータを蓄積した。

Q 学習の効果が上がるの？

A 授業分析シートでゴール（身に付けさせたい力）をイメージして学習してきたので、教科レベルや単元レベルの習熟は図られたと考える。

しかし

そもそも、児童・生徒になぜ学ばせるのか？

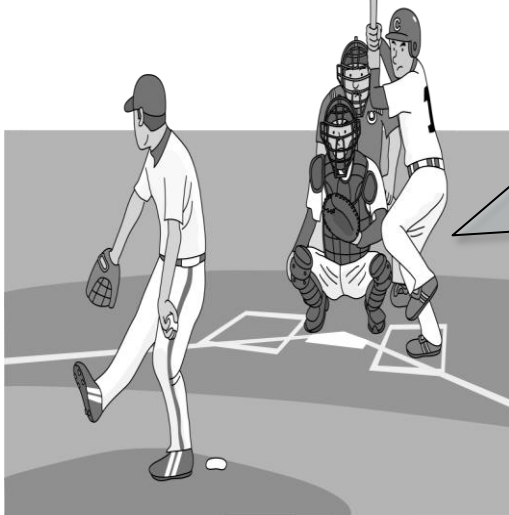
教科で身に付けた力の先にあるものは何なのか・・・？



## VI 串間市教育研究所 今後の展望

### ① 教科で身に付けた力の先にあるものは何なのかを意識した主体的・対話的で深い学び

試合でこそ、自分の成長と課題が明確に実感できる



せっかく身に付けた技術をどこで試すのか・・・

実社会・実生活に生きる汎用的な資質・能力

探究的な学習

協働的な学習

各教科単独では困難な現代的な課題に対応

総合的な学習の時間

練習の成果を試す試合

各教科等で身に付けた様々な資質・能力

国語

資質・能力

社会

資質・能力

算数

資質・能力

理科

資質・能力

体育

資質・能力

それぞれの技術を磨く練習



守る



打つ



走る



投げる



# VI 串間市教育研究所 今後の展望

## ②身に付いた資質能力を活用するフィールドの整備

なぜ学ぶのか？ どのような将来を見据えているのか？

串間市の学力向上を図る意味は「串間市の存続」！  
そのために、くしま学・地域創生学を柱とした小中高一貫教育を推進

将来の人口減少に備えた  
「戦略的に縮小する社会」(串間市)の中核人材へ  
～地域創生学で育成した現実社会への対応能力と地元愛を生かす～

### 実践的な「試合」の場

「串間の大人はみな教材！」

帰串して、地元の活性化に貢献する人材

県内外の大学

進学UP

一般入試・AO入試・推薦入試

高卒後、即戦力となる人材



串間市役所  
地域おこし隊



宮崎大学  
産業経営大学等



地元企業等



諸機関等の協力のもとに  
串間をフィールドとした  
串間の課題解決のための実践的な学び



串間の特産調査を介し働く人々、生き  
方等にふれ、進路選択、職業選択を考  
えていくキャリア形成に向けた学び

串間の「人・もの・こと」を知り、自  
信をもって語り、地元愛をもつ学び



串間中学校

### くしま学Ⅱ

□学んだことを活用  
□足りないことを再学び  
【往還する学びのシステム】

### くしま学Ⅰ



市内10小学校



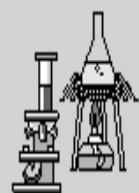
各教科等で学ぶ意味を「試合」の場で活用できる力を身に付ける「実践的・計画的な練習」の場という意識を教職員がもつことで、くしま学等を核とした教育課程の編成に発展する。

### 試合を戦うための「練習」の場



串間高校

### 地域創生学



夢は、南の果てにある。

太陽と海と野生動物。天然づくし、くしまし。



串間市教育研究所では、本年度より新たな取り組みとして、配付資料を従来の研究紀要形式ではなく、研究の取り組み内容や、つながりが一目で分かるよう、ポンチ絵にしました。

このポンチ絵を見られて、これまでの研究の系譜や本年度の研究で使用された各教科の授業分析シート等を参照されたい方は下のQRコードへアクセスしてください。平成31年3月中旬から、各種データを確認できるよう整備をいたします。

## VII 研究同人

所長	吉松 俊彦	(串間市教育委員会教育長)
事務局	野辺 幸治	(学校政策課長)
	阿部 泰宏	(教育指導監)
指導員	津奈木考嗣	(指導主事)

主任研究員	富迫 裕紀子	(都井小学校)	教頭
研究員	堀 清子	(福島小学校)	教諭
	米田 彩花	(有明小学校)	教諭
	長友 浩子	(北方小学校)	教諭
	木村 哲弥	(大東小学校)	教諭
	日高 美穂	(大平小学校)	教諭
	安影 孝司	(本城小学校)	教諭
	海田 聖彦	(串間中学校)	教諭
	日高 真	(串間中学校)	教諭



串間市教育研究所  
(串間市教育委員会学校政策課)  
〒 888-8555  
宮崎県串間市大字西方5550番地  
TEL 0987-72-1111  
FAX 0987-71-1015  
mail gako@city.kushima.lg.jp